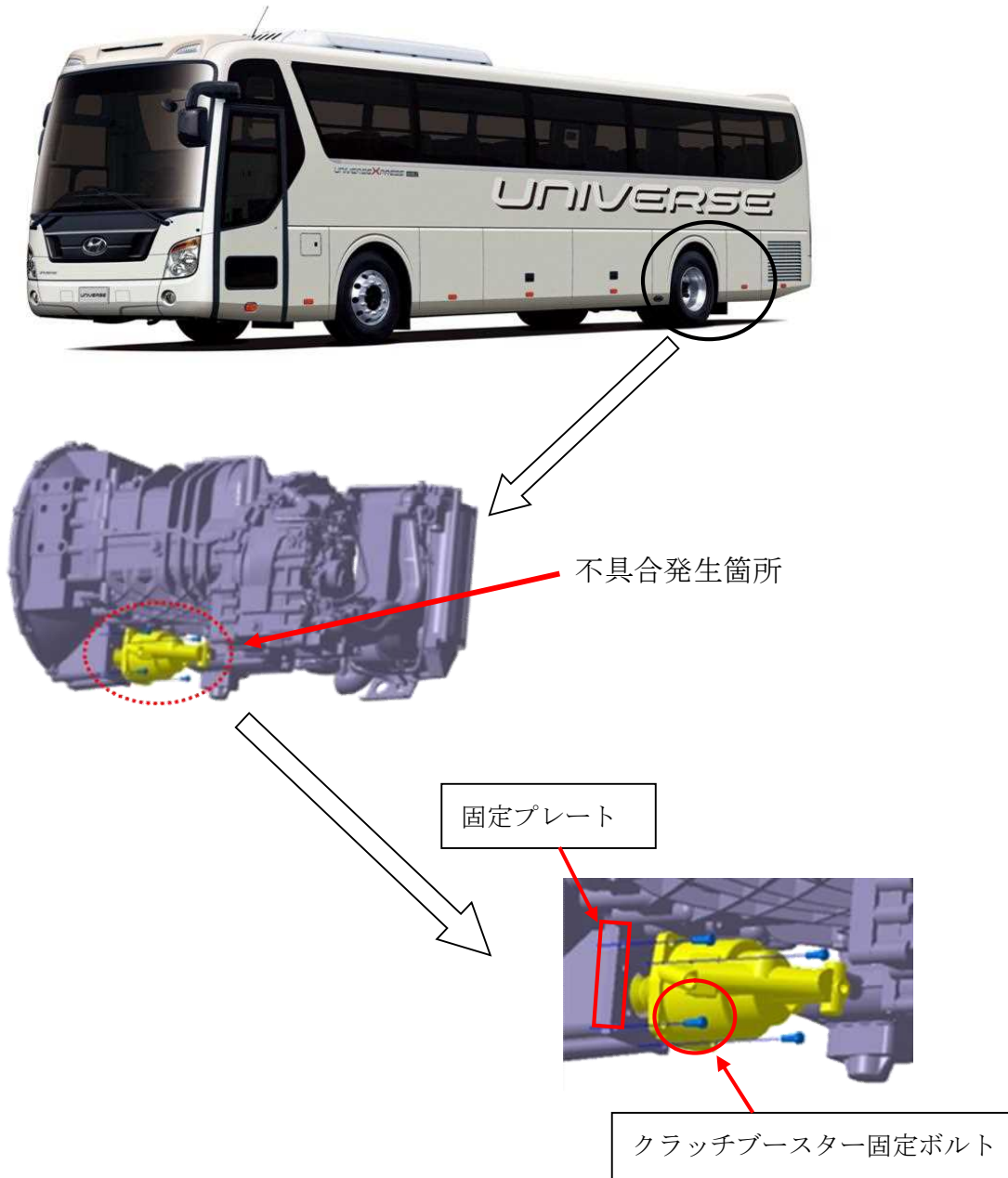


改善箇所説明図



※ □は交換部品を示す

大型バスのクラッチブースターにおいて、製造工程管理が不適切なため、正規より長い固定ボルトが取り付けられていたものがある。そのため、クラッチブースターの固定不良が生じ、走行振動等により変速機の固定プレートが破断して、最悪の場合、当該ブースターが脱落して走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、クラッチブースターと固定プレートの締結状態を点検し、隙間が生じている場合は、固定ボルトを正規品に交換して、固定プレートを新品に交換する。

識別：エンジン整備ドア内の指定個所に対策済み識別のシールを貼付する。